



家計支出と曜日について

涼しくなり、秋の味覚が楽しい季節になりましたが、今回は家計支出と曜日の関係について調べてみました。全国家計構造調査では各都道府県の1世帯当たりの家計収支が公表されていますが、京都府の場合、一か月の平均支出は238,634円で内訳は表1のとおりです。食料の割合が一番大きいですね。

表1 1世帯当たり一か月の支出金額（京都府）

（単位：円）

消費支出	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	
238,634	67,184	20,296	16,300	11,119	
被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他
10,974	12,192	29,454	7,718	25,995	37,403

出典：2019年全国家計構造調査（総務省統計局）

次に同様に、表2の1日の平均支出を見てみても、やはり食料の金額が一番多いようです。そのうち外食は各曜日でバラつきがあり、他の曜日と比べて金曜日～日曜日に金額が増えていることがわかります。

表2 曜日別1世帯当たり1日の主な支出金額（京都府）

（単位：円）

収支項目分類	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
消費支出	4,451	4,157	4,369	4,278	5,755	4,962	5,847
食料	2,003	2,031	1,956	1,937	2,132	2,423	2,613
うち外食	479	283	302	293	572	761	732
家具・家事用品	314	259	213	516	246	241	405
被服及び履物	297	218	329	341	348	353	583

出典：2019年全国家計構造調査（総務省統計局）

食欲の秋と言いますが、統計では、外出しやすい金曜日や休日に外食が増えていることがわかりました。統計は難しく捉えられることも多いですが、このように生活に関連するデータもありますので、この際に興味を持ってみてはいかがでしょうか。